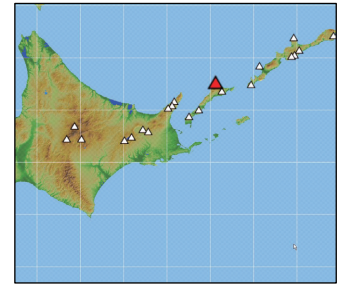


107. ルルイ^{だけ}岳 Ruruidake (国後島)

北緯 44° 27' 16" 東経 146° 08' 22" 標高 1,486m (独自に計測)



ルルイ岳 南東側の爺爺岳山頂から 1999年8月1日 吉本充宏撮影

概要

Dokuchaev Ridge の北端に位置する。北西側の麓はオホーツク海に達し、北東側と南東側には第三系の基盤が露出する。南側は、Smilnov(岩山)Volcano と接する。

現在の山体(1486m)には、最初の氷河期にできた地形が見られる。山頂に達する3本の広く深い谷によって、火口は完全に破壊されている。さらに、山麓の一部は相当量の侵食を受けている。標高が下がるにつれて狭くなる3本の谷は、明らかに次の氷河期にできたカールによって改変を受けている。これらの谷の谷壁には、典型的な火山体の構造が露出している。

頂上付近には、噴気活動によって変質した白っぽい岩石が露出するが、最近の活動は、山体西側(海拔 150~350m 付近にある、およそ 1km² の範囲)で認められるだけである(Gorshkov, 1970)。構成岩石の SiO₂ 量は 58.1~67.1 wt.% である。

地勢図

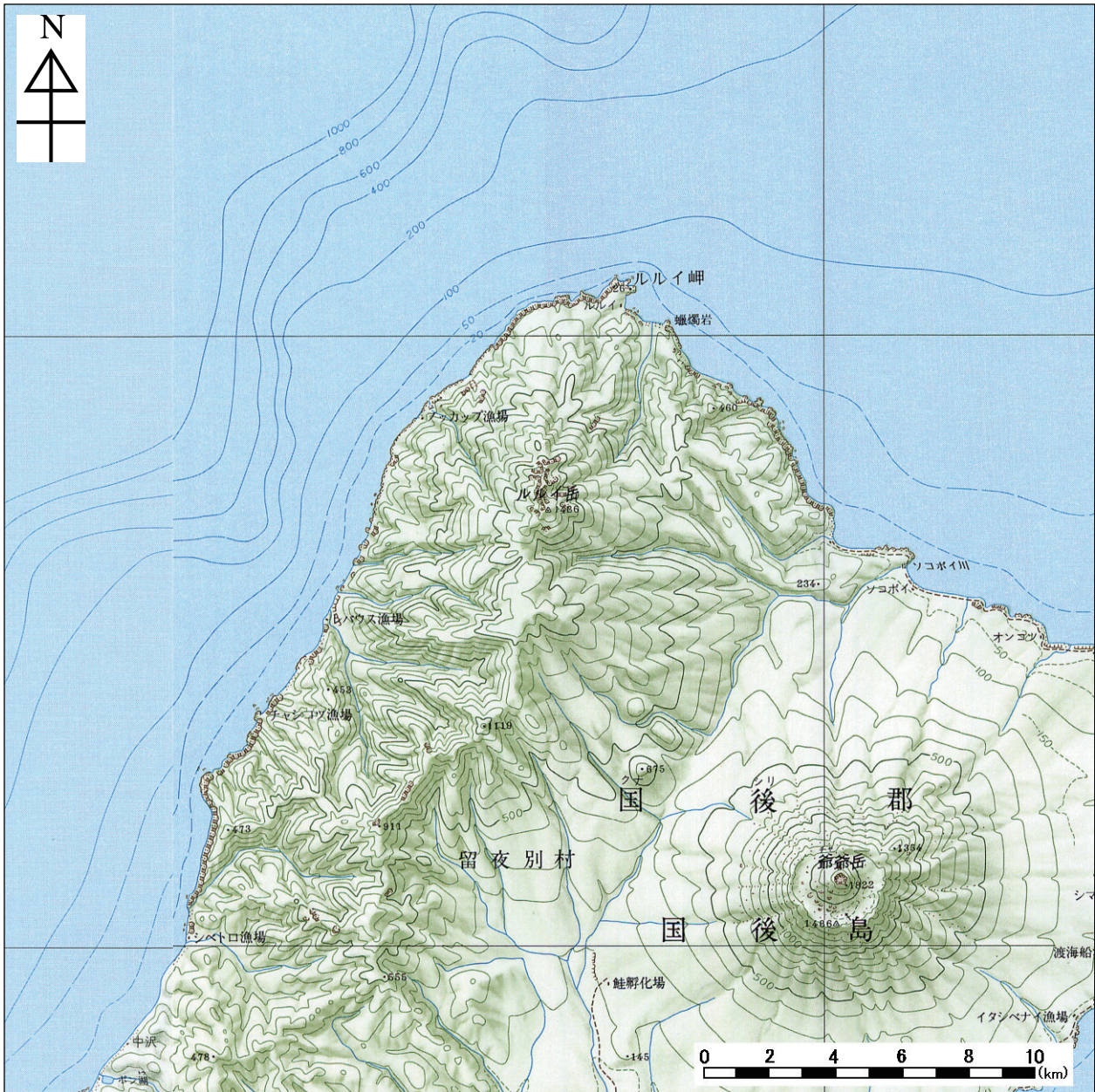


図 107-1 ルルイ岳の地勢
国土地理院発行の 20 万分の 1 地勢図(安渡移矢岬)

噴火活動史

記録に残る火山活動はない。北西山麓で噴気活動が見られる。

近年の火山活動

・地震活動

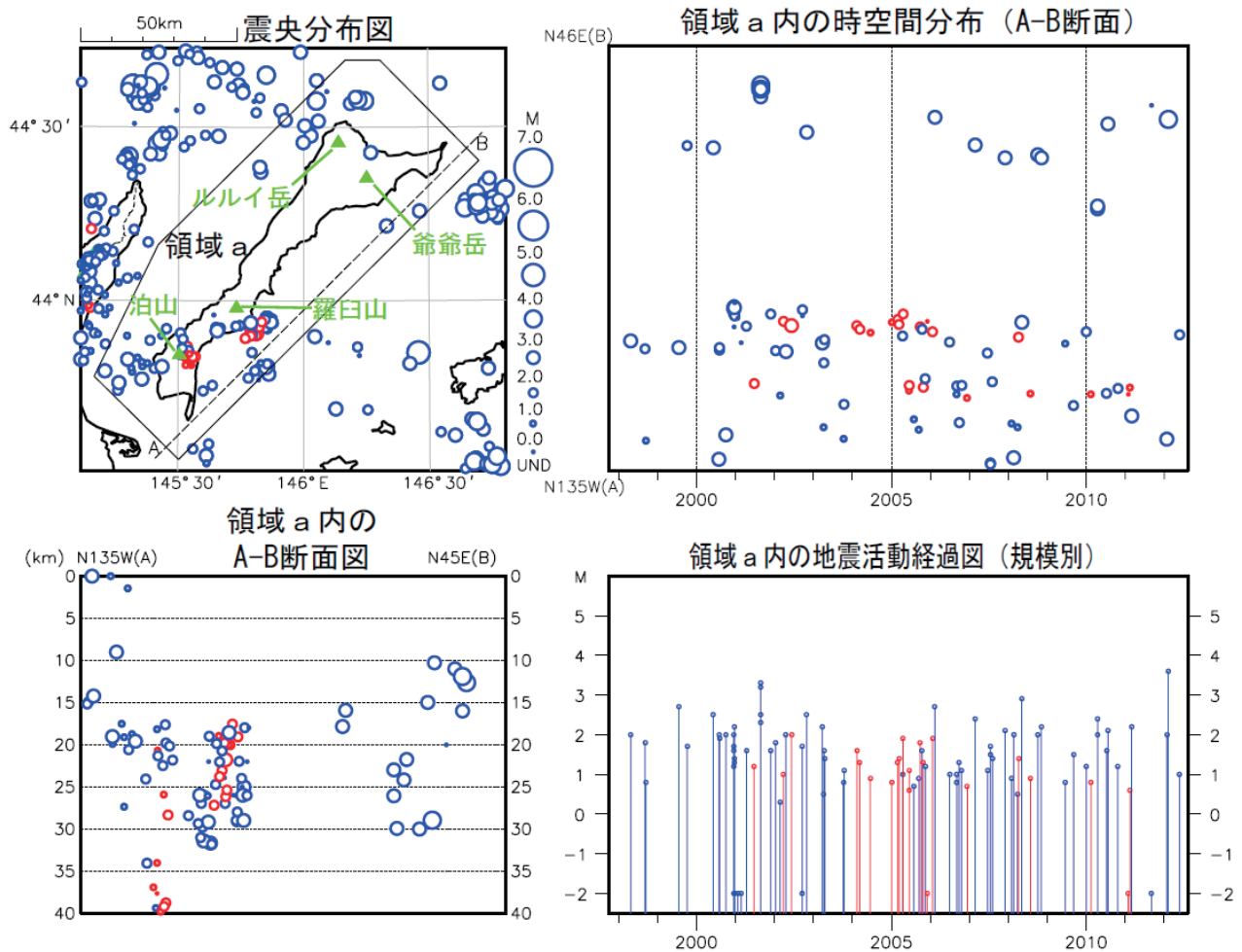


図 107-2 国後島 広域地震観測網による浅部の地震活動(青)及び深部低周波地震活動(赤)
(1997年10月～2012年6月30日)

関連する主な気象官署

機関・部署名	所在地	電話番号
気象庁地震火山部火山課	東京都千代田区大手町 1-3-4	03-3212-8341
札幌火山監視・情報センター	(札幌管区气象台)札幌市中央区北 2 条西 18 丁目 2	011-611-2421
釧路地方气象台	釧路市幸町 10 丁目 3 番地 釧路地方合同庁舎 9 階	0154-31-5145

引用文献

Gorshkov, G. S. (1970) Volcanism and the upper mantle: investigations in the Kurile Island Arc. Plenum Press New York-London, 385.